ワイエイシイ株式会社

東証1部　証券コード：6298

第40期　中間
ビジネスレポート

平成23年4月1日～平成23年9月30日

CONTENTS

株主の皆様へ 2

財務ハイライト 過去3年間の業績推移（連結） 3

営業状況 4

連結財務諸表 5

ネットワーク 6

会社概要 7

株主メモ 裏表紙

株主の皆様へ

代表取締役社長
百瀬 武文

株主の皆様におかれましては、平素よりワイエイシイをお引き立て賜りまして誠にありがとうございます。ここに第４０期中間期ビジネスレポートをお届けいたします。

今年度の上半期における経済状況は、ギリシャの財政危機をはじめとした欧州経済の混乱、米国の景況感の悪化や、中国をはじめとしたアジア地域諸国の金融引締め等により、世界的に経済の先行きの不透明感が拡大しております。

このような状況のなか、当社は、より競争力を高めるため原価低減、経費節減運動を展開する一方で、M&Aやグローバル展開によるマーケットの拡大、クリーンエネルギー関連の製品の開発に積極的に取組んでおります。

当中間期において、株式会社デンコーを連結子会社とし、同社が持つ熱処理技術を液晶関連製造装置へ活用するとともに、自動車業界向け装置を取扱製品に加え、ワイエイシイグループの事業拡大を図ってまいりました。

下半期においても引き続き当社グループは、経営体質及び経営基盤の強化に努め、競争力のあるハイテク及び環境関連製品の研究開発を推進し、着実な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

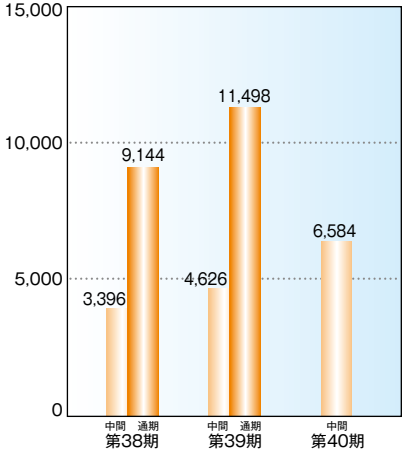
平成23年12月

配当金について

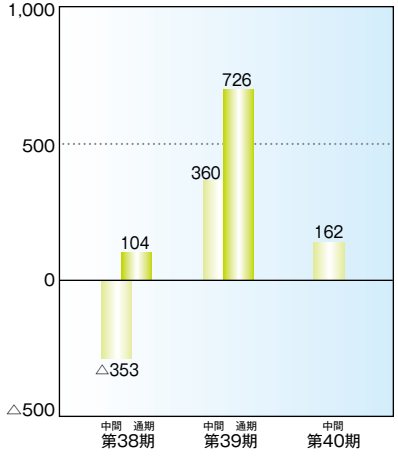
配当金につきましては、当中間期業績や財務状況等を総合的に勘案し、1株につき10円とさせていただきました。

財務ハイライト 過去3年間の業績推移(連結)

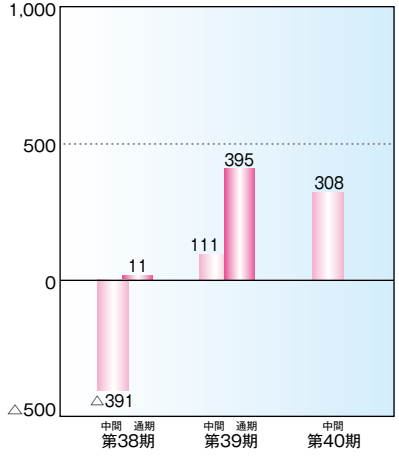
売上高 (単位:百万円)



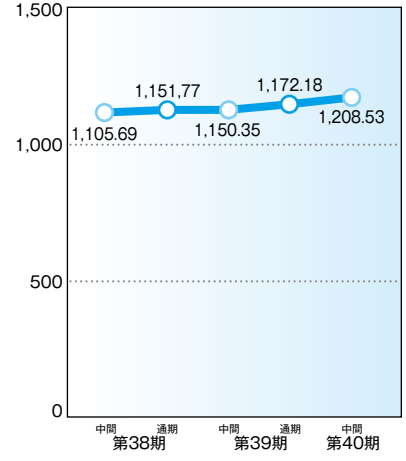
経常利益 (単位:百万円)



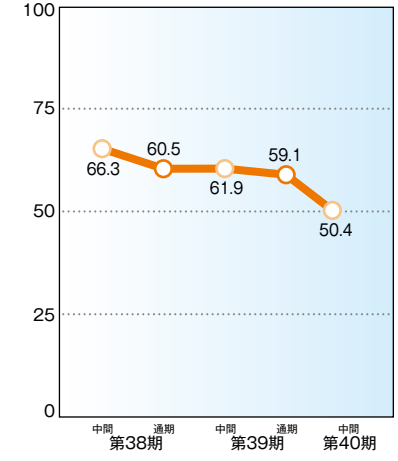
当期純利益 (単位:百万円)



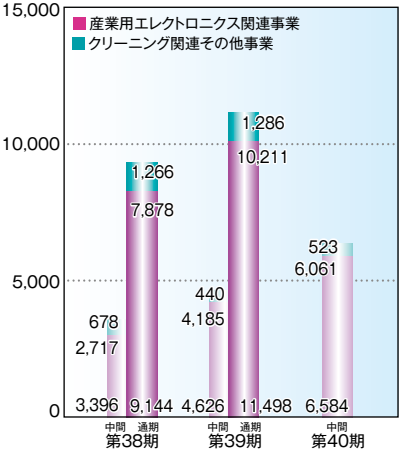
1株当たり純資産額 (単位:円)



自己資本比率 (単位:%)



セグメント別売上高 (単位:百万円)



■事業概況

当中間期における日本経済は、東日本大震災後の落ち込みからの回復基調が続いておりますが、欧州の財政問題や米国経済の停滞の影響に加え、急速な円高の長期化により、景気の回復が遅れております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、アジア地域を中心としたグローバルな営業展開やグループ会社の強化により売上は伸張しましたが、海外メーカーとの価格競争等により収益を圧迫することとなりました。

その結果、当中間期の業績は、売上高65億84百万円（前年同期比42.3%増）、営業利益1億81百万円（同49.2%減）、経常利益1億62百万円（同54.9%減）、中間期純利益3億8百万円（同177.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

A. 産業用エレクトロニクス関連事業

ハードディスク関連装置分野では、パソコン、カーナビ等の需要鈍化により設備投資は停滞しておりますが、UVキュア装置や搬送装置等の拡販により、業績は順調に推移しました。

半導体関連装置分野では、新興国の自動車・家電等に係る半導体需要やスマートフォン・タブレット端末等の需要は好調でしたが、先行き不透明感から設備投資が抑制され、業績は後退しました。

液晶関連装置分野では、スマートフォン・タブレット端末等の需要により設備投資が旺盛となり、中型液晶装置が売上に寄与しましたが、一方海外メーカーとの競合があり、収益面は低調に推移しました。

太陽電池関連装置分野では、低変換効率の太陽光パネルに過剰在庫が生じ、設備投資が先送りとなり、業績は厳しい状況で推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は60億61百万円（前年同期比44.8%増）と伸張しましたが、営業利益は3億78百万円（同36.9%減）と低調となりました。

B. クリーニング関連その他事業

クリーニング関連その他事業では、ライフスタイルの変化等によりクリーニング需要が減退し、業界自体が収縮する厳しい事業環境のなか、国内外の営業強化と一層のコストダウンに努め、売上高・収益を確保しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は5億23百万円（前年同期比18.7%増）となり、営業利益は49百万円（前年同期は営業損失17百万円）を確保しました。

■経営の現状と見通し

当社グループの中心事業である産業用エレクトロニクス関連事業は、欧州の財政縮小や米国の景気後退、そして欧米の影響による新興国の成長率鈍化等、景気の先行きに不透明感が強く、厳しい状況が続くものと予想されます。

当社グループは、これらの状況を鑑み、顧客のニーズに対する研究開発体制を構築し、市場の変化に対応できる生産体制を図ることが不可欠と考えております。

『環境にやさしい装置』をテーマとして、クリーンエネルギー分野での付加価値の高い装置の開発や装置の省エネ化に努め、顧客ニーズに応じた製品の拡大を図ってまいります。さらに、海外生産による事業コストの削減、経営コストの削減、社員の意識改革を実施し、企業体質の強化に努めてまいります。

通期の業績見通しにつきましては、内外の景気動向を踏まえ、売上高190億円（前期比65.2%増）、営業利益16.5億円（同135.9%増）、経常利益16億円（同120.1%増）、当期利益9億円（127.3%増）を見込んでいます。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期中間 平成23年9月30日現在	前期中間 平成22年9月30日現在
【資産の部】		
流動資産	17,499	13,812
現金及び預金	6,770	6,844
受取手形及び売掛金	5,139	3,859
たな卸資産	5,112	2,773
その他	477	335
有形固定資産	3,324	2,929
無形固定資産	124	92
投資その他の資産	445	434
資産合計	21,394	17,269
【負債の部】		
流動負債	7,466	4,733
支払手形及び買掛金	5,391	2,996
その他	2,074	1,736
固定負債	2,795	1,840
負債合計	10,262	6,574
【純資産の部】		
株主資本	11,035	10,897
その他の包括利益累計額	△256	△202
少数株主持分	352	—
純資産合計	11,131	10,695
負債純資産合計	21,394	17,269

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期中間 平成23年4月1日～ 平成23年9月30日	前期中間 平成22年4月1日～ 平成22年9月30日
売上高	6,584	4,626
売上原価	5,329	3,445
販売費及び一般管理費	1,073	823
営業利益	181	357
営業外収益	16	38
営業外費用	35	35
経常利益	162	360
特別利益	201	—
特別損失	51	54
税金等調整前四半期純利益	312	306
少数株主損益調整前四半期純利益	407	111
四半期純利益	308	111

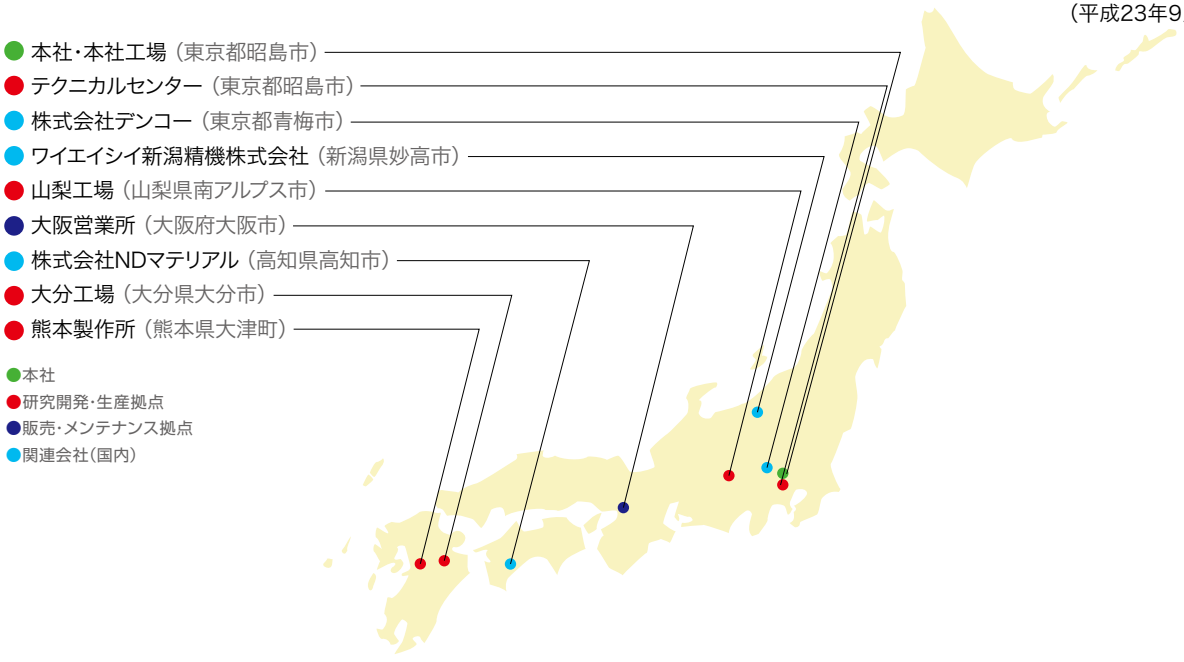
中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

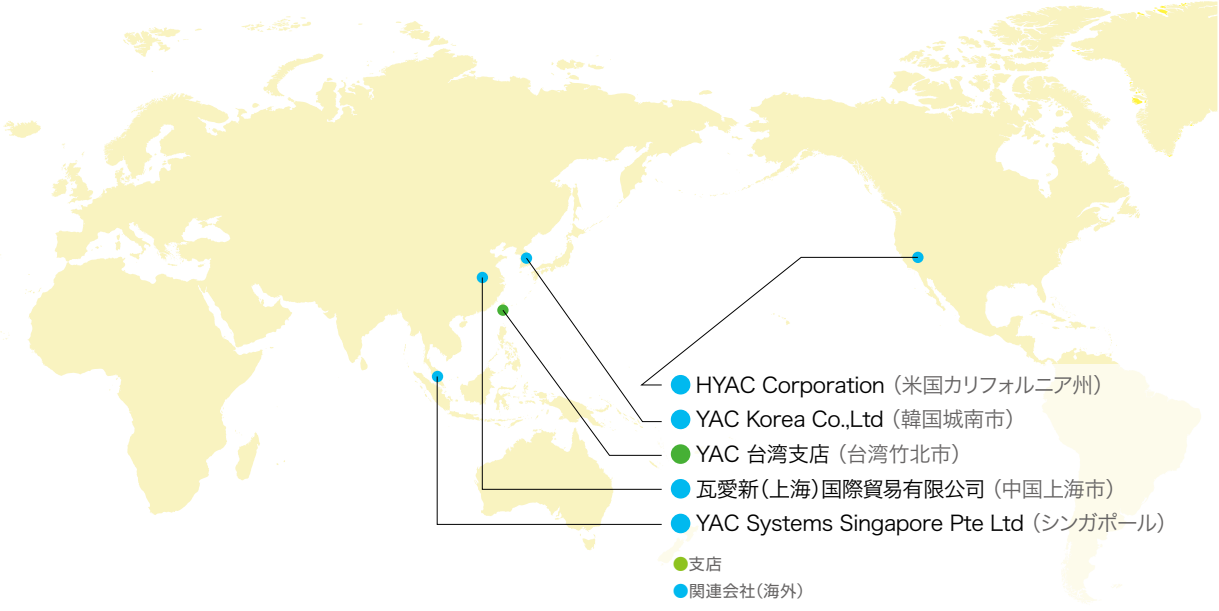
(単位:百万円)

科目	当期中間 平成23年4月1日～ 平成23年9月30日	前期中間 平成22年4月1日～ 平成22年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	467	2,103
投資活動によるキャッシュ・フロー	462	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△728	△429
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47	△42
現金及び現金同等物の増減額	155	1,617
現金及び現金同等物の期首残高	6,520	5,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,675	6,834

ネットワーク

（平成23年9月30日現在）





会社概要 （平成23年9月30日現在）

商号	ワイエイシイ株式会社
英文表示	Y.A.C.CO.,LTD.
本社	東京都昭島市武蔵野三丁目11番10号
設立	昭和48年5月11日
資本金	2,756百万円
従業員数	196名（出向社員・契約社員等の臨時雇用者含まず）
事業内容	次にあげる自動機械の設計・製造・販売ならびに装置開発を行っております。

●産業用エレクトロニクス関連事業

液晶向プラズマドライエッチング装置／ロジックハンドラー／熱処理炉／ハードディスク用各種精密研磨装置／ハイクリーンコンベアシステム／平面発光ランプエミッター／太陽電池製造装置 ／精密熱処理装置

●クリーニング関連その他事業

包装機／立体包装機／シャツ・ウール用プレス機／全自動立体分配システム

役員・執行役員 （平成23年9月30日現在）

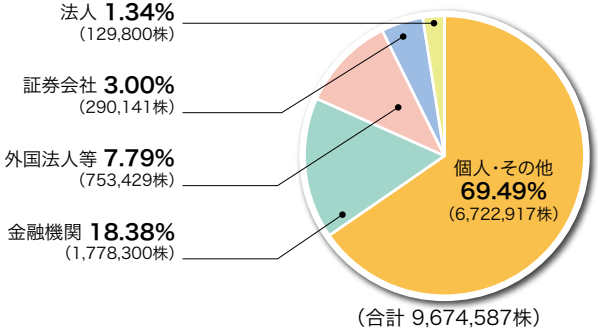
代表取締役社長	百瀬　武文
常務取締役	佐藤　康男
常務取締役執行役員	伊藤　利彦
常務取締役	宮本　忠泰
取締役執行役員	和田　貢
取締役執行役員	大福　芳弘
取締役執行役員	副島　幸雄
常勤監査役	東田　明
監査役	勝間田　武司※
監査役	石田　祥二※
執行役員	西原　宗久
執行役員	曽根田　栄悦
執行役員	寺本　和政

※社外監査役

株式の状況 （平成23年9月30日現在）

会社が発行する株式の総数		34,388,000株
発行済株式の総数		9,674,587株
当期末現在の株主数	5,241名	
個人・その他 (注1)	5,081名	6,722,917株
法人	49名	129,800株
金融機関	29名	1,778,300株
証券会社	36名	290,141株
外国法人等	46名	753,429株

所有株式数分布状況 （平成23年9月30日現在）



（合計 9,674,587株）

大株主 （上位10名）（平成23年9月30日現在）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%) (注2)
百瀬 武文	1,500	16.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	543	6.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	333	3.73
ビービーエイチ フォー フィデリティー ロープライス ストック ファンド	279	3.14
日本証券金融株式会社	108	1.22
ビーエヌピー パリバ セキュリティーズ サービス ルクセンブルグ ジャスデック セキュリティーズ	88	0.99
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505041	86	0.97
カセイス バンク ルクセンブルグ クライアント アカウント	82	0.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	70	0.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	68	0.76

※当社は、自己株式を755,232株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
(注1)従業員・自社名義株式を含みます。(注2)持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	3月31日、その他必要ある場合にあらかじめ広告する一定の日
公告の方法	当社ホームページに掲載（http://www.yac.co.jp）
	（やむを得ない事由が発生した場合は日本経済新聞に掲載）
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
（お問合せ先）	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	TEL 0120-232-711（フリーダイヤル）
1単元の株式の数	100株

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座がある証券会社にお申出ください。

なお証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱信託銀行株式会社にお申し出ください。

ワイエイシイ株式会社

〒196-0021　東京都昭島市武蔵野3-11-10
TEL（042）546-1161（代表）　FAX（042）546-1107
URL　http://www.yac.co.jp